



テナガエビ

テナガエビ科 体長 8～9cm
長いはさみあしを持つ。川と海を行き来し、河口から中流域までの草むらや石の隙間などに生息。好戦的で自分と同じぐらいの大きさの魚にも逃げずに闘う。



スジエビ

テナガエビ科 体長 3～5.5cm
河口から上流までの草むらや石の隙間などに生息。腹部に7本の黒い横縞(体を縦にして見る)があるのが名前の由来。



カワリヌマエビの仲間

ヌマエビ科 体長 2～3cm
ヌマエビ・ヌカエビ・モエビなどとも呼ばれ、中国・韓国原産の外来種。1960年代以降ペットや釣り餌として輸入されたものが放され増殖。柳瀬川でもよく見られる。



モクスガニ

イワガニ科 甲幅 5.5cm
はさみの周辺にあるやわらかい毛が藻にみえる。夏、仔ガニが川を上り、川や湖沼で成長し、秋から冬に産卵のために海に下る。



サワガニ

サワガニ科 甲幅 2.4cm
湧水があるような清流で見られる。7割は右のはさみあしの方が大きい。卵はメスの腹部についたまま孵化する。



アメリカザリガニ

アメリカザリガニ科 体長 8～11cm
北米原産の外来生物。ウシガエルの餌として輸入したものが全国に拡散。在来のニホンザリガニは東北と北海道だけに生息。